

宜野湾市平和大使育成事業 「平和」を次世代へ伝える

宜野湾市では、平和の大切さを次世代へ継承できる人材育成を目的として、「宜野湾市平和大使育成事業」に取り組んでいます。令和7年度は、市立中学生8名と青年層1名の計9名が宜野湾市平和大使に任命され、県内での研修や、広島県・山口県での県外研修を通して様々なことを学んでいます。その成果を各中学校や平和大使学習報告会にて発表しました。

11/1



多言語平和絵本読み聞かせ&平和大使報告会

宜野湾市立博物館において「多言語平和絵本読み聞かせ&平和大使報告会」を開催しました。

英語・スペイン語・ベトナム語・韓国語の平和に関する絵本読み聞かせのほか、読み手の皆さんはそれぞれの平和への思いもお話してくださいました。平和大使は戦争体験者の証言朗読や、これまでの学びを市民の皆さまへ報告し、参加者の皆さまと平和について考える機会となりました。



▲各国の読み手の皆さんと一緒に



▲英語の絵本読み聞かせ



▲平和大使による証言朗読

12/2



平和大使学習報告会

今年、宜野湾市平和大使に任命された9名は県内の戦跡や資料館をめぐる事前研修をはじめ、県外団体との交流、8月には被爆地・広島において平和記念式典に参列しました。平和記念資料館では原爆の実相について学びを深め、全国から集まった青少年と意見交換を行いました。県外派遣後は、中学校や市平和啓発イベントにおいて平和を発信する活動を行いました。

平和大使の常山慎之助さんは、「ねたみやひがみからの行動は、相手を傷つけ、イライラさせ「喧嘩」という小さな戦争になります。そんな事を少しでも少なくするために、よく相手の良い所を探し、認めることが大切だと思いました。そんな行動が少しずつ広がり、少しずつ積み重なって、世界中に平和な和が広がったらいいなと思っています」と、これまでの学習を振り返りました。



▲これまでの学びを報告



▲市長・教育長・学校関係者・平和大使の皆さん

12/13



フォローアップ研修

昨年度の平和大使を対象としたフォローアップ研修を実施しました。（今年度の平和大使も参加し合同で研修を行いました。）

今回は沖縄戦の激戦地の一つである南風原町で沖縄戦について深く学び、南風原町の中学生と交流をしました。

午前は、南風原文化センター、沖縄陸軍病院南風原壕群20号や記念碑などを見学しました。戦時中は同じ出来事であっても、個人それぞれの立場によって、抱える思いや苦悩が大きく異なっていたことを学びました。

午後は、研修で回ったスポットの見どころをまとめたり、「戦争を起こさない・起こさせないためのアクションプラン」を作成し、自分たちになにができるのか考える機会となりました。



▲壕入口にて説明を受ける平和大使



▲アクションプラン作成



▲参加者の皆さん